

【別紙様式 I】 令和7年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立森の里中学校

厚木市教育委員会の基本目標

- 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
- 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
- 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 松田 拓也

| 学校教育目標  | 学校経営の方針  |
|---|--|
| <p>【自律】 自ら考え、判断し、行動できる自律した生徒の育成</p> <p>【尊重】 自他の多様性を尊重し、対話と協働ができる生徒の育成</p> <p>【創造】 変化する社会で、未来を創造できる生徒の育成</p> | <p>(1) 学校生活の中で、生徒の言動を決定づけたり制限したりする教員からの指示を極力控え、たとえ失敗しても生徒が自ら判断し、自ら行動できるよう意図的な働きかけや指導を積み重ねる。</p> <p>(2) 個々の生徒をよく理解できる小規模校の特長を生かし、個々の生徒のニーズに応じて、生徒の力を伸ばすよう指導・支援に努める。</p> <p>(3) 小規模校の利点を生かした指導方法等の工夫・改善に積極的に取り組み、すべての生徒が資質・能力を身につけられるよう努める。</p> <p>(4) 心理的安全(安心していられる環境)と、物理的安全(ケガや事故がない安全な環境)を保障する安心・安全な教育環境を構築する。</p> <p>(5) 人材育成に努め、組織のチーム力向上と学校運営の活性化を図るとともに、PDCAサイクルやOODAループを基に学校評価等による課題の明確化と改善を図る。</p> <p>(6) 学校・家庭・地域の連携により、地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進する。</p> |

今年度の重点目標

- (1) 生徒の生涯に渡るウェルビーイングのために、生徒が自分で考えて判断し、主体的に物事に取り組むことを優先して学校づくりに努める。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善をすすめるとともに、評価方法の工夫・改善に積極的に取り組む。
- (3) 安心・安全で、インクルーシブな学校づくりを目指し、個々の生徒のニーズに応じた適切な支援を行う。
- (4) 生徒が他者と交流する場面を校内外で意図的に設定することにより、コミュニケーション力を高めるよう努める。

| 評価項目・指標等  | 基本目標との関連 | 具体的な取組  | 成果と課題  | 次年度への具体的な改善策   |
|---|----------|---|--|--|
| <p>今年度の重点目標(1)</p> <p>・自律した生徒の育成を目指す取組</p>                | 1・3      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習(全学年)</li> <li>・キャリア教育</li> <li>※職業講話(1年)</li> <li>※職場体験学習(2年)</li> </ul> | <p>探究学習では、SDGsなどの与えられたテーマから生徒が主体的に課題を見つけ、収集した情報を整理・分析し、それぞれスライドにまとめて発表した。これらの学習過程の中で、各教科で学んだ知識と関連づけたり、仲間との協働によって互いに考えを深めたりすることができた。一方、調べ学習で終わってしまったり、課題に対してあまり深められなかったりするケースもあり、課題を設定までのプロセスについては改善が必要である。</p>                                       | <p>来年度から総合的な学習の時間を大きく変更し、探究学習及びキャリア学習の2つを大きな柱として行っていく。特に探究学習では、1年生で基礎的なスキルを学び、2年生からは2年間かけて個人探究活動を行う。テーマを設定するところでは、全職員が生徒と関わり、生徒が設定した課題について検討と修正を繰り返した後、テーマが決定することになるため、より探究的な学びにつながっていくと考える。</p>   |
| <p>今年度の重点目標(2)</p> <p>・生徒の学習活動の充実</p> <p>・指導と評価の一体的充実</p> | 1        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まなびタイム(評価の修正)</li> <li>・学習相談日(学習改善)</li> <li>・学習指導及び評価研修</li> </ul>           | <p>昨年度に引き続き、毎週月曜日の放課後に「まなびタイム」を設定し、生徒全員がB評価の規準をクリアできるように取り組んだ。また、今年度から学期末に生徒・保護者を対象にした学習相談日を行い、指導に生かす評価について、教科担当者から具体的に聞くことができ、参加した生徒からは好評だった。</p> <p>今年度から定期テストを廃止し、学習指導と評価について大きく変更したが、学習評価については、生徒や保護者のアンケートからも十分に理解されていないことがわかったため、改善が必要である。</p> | <p>学習評価については、4月に新1年生の保護者を対象に説明会を実施する形をとっている。しかし、保護者の学校評価アンケートによって不安に感じた保護者がいたことがわかったため、単元テストの日時に加えて範囲や提出物の有無等も、伝達する形に変更した。また、評価方法については、各教科担当から丁寧に説明することに加え、評価後には個別に説明し、まなびタイムによって規準をクリアできれば、評価の修正を行うサイクルをまわしていくことで、生徒や保護者の学習評価への理解も進むと考える。</p> |

|   |            |  |  |   |
|---|------------|--|--|---|
| <p>今年度の重点目標(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳及び人権教育の充実</li> <li>・校内支援体制の確立</li> </ul>   | <p>2・3</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任外道徳の授業実施</li> <li>・人権週間の取組</li> <li>・生活アンケート、教育相談の実施</li> <li>・校内支援委員会、生徒支援会議の実施</li> </ul>    | <p>道徳の授業では、生徒が多様な価値観に触れることができるように複数の教員が関わることで、生徒の道徳的判断力を高める取組を行うことができた。</p> <p>生活アンケートは毎月実施し、必要に応じて担任等が声をかけ、生徒の少しの変化も見逃さないように取り組むことができた。</p> <p>校内支援体制については、組織的に機能できていない側面もあるため、それぞれの担当者が中心となって学年職員等と連携し、対応できるように工夫していく必要がある。</p>          | <p>生徒支援会議や校内支援委員会では、生徒の情報を共有し、迅速に全体へ情報伝達することはできているが、伝達することがメインになってしまい、支援策について検討するところには至っていないケースもあった。そのため、教育相談コーディネーターや生徒指導担当が中心となって、積極的に校内でケース会議を行ったり、外部機関を活用したりする等の工夫を、今後考えていきたい。</p>  |
| <p>今年度の重点目標(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の充実</li> <li>・小中連携の推進</li> <li>・地域連携の推進</li> </ul>   | <p>2・3</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会交流会</li> <li>・体育的、文化的行事の充実</li> <li>・小中連絡会</li> <li>・小中授業交流会</li> <li>・地域ボランティアの参加</li> </ul> | <p>生徒数減少に伴い、体育的行事や文化的行事、生徒会活動を中心に縦割りで活動する機会が多くなってきている。特に生徒会本部が主催して昼休みに行うレクリエーション活動では、異年齢集団になるようにチーム編成を行い、全校生徒がつながる活動を推進している。</p> <p>地域連携では、地域のボランティア活動に参加する生徒はごく一部の生徒に限られてしまっている現状がある。生徒の学校評価アンケートでは、肯定的な意見は50%にとどまり、学校として大きな課題の1つである。</p> | <p>生徒数減少によって、学校行事だけでなく、日常の活動においても、今後縦割りで活動していくことを検討していき、小規模校の強みとして、生徒の社会性や協調性を育てていきたい。また、小中学校が近隣にあることの良さを生かし、児童・生徒同士が交流する機会を増やしていくことで、中学生が地域に貢献しやすい環境を整えることも行っていきたい。</p> <p>1年生の探究学習において、地域を1つのテーマとして設定し、生徒が地域に目を向けるきっかけとなるよう取り組んでいきたい。</p> |
| <p>今年度の学校関係者評価委員会からの意見</p>  |            |  |  |   |
| <p>・令和7年度の学校評価を受け、学校の取組について理解していただいた。しかし、学習評価については保護者への丁寧な説明がより必要であることや、探究学習における地域との関わりについてご意見をいただいた。</p> <p>・学校行事をはじめ、授業に取り組む様子においても生徒が生き生きと活動している姿や、生徒が学校運営協議会に参加して校則改正に向けて意見交換する取組など、生徒が主体的に活動している姿を見ることができたことに対し、一定の評価をいただいた。</p> <p>・地域には数多くの教育資源があり、様々な活動を通じて子どもたちに、「地域は大事」と伝えるとともに、学校と地域が一緒に活動していくことで、地域への理解も深まっていくのではないかと意見が出された。</p> |            |  |  |   |
| <p>今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針</p>  |            |  |  |   |
| <p>・学校規模、学級数・教職員数の状況から、次年度も今年度と同様の教育活動を行っていくが、総合的な学習の時間を、「探究学習」と「キャリア学習」の2つの柱で進めていくこととし、特に探究学習については、生徒の学びが深まるように全教員が関わって教育活動を行っていく。</p> <p>・学校教育目標について、「自律」「尊重」「創造」の3つから、来年度は「自律」の1つに絞り、「主体的に考え、判断し、行動できる自律した生徒の育成」に変更する。</p>   |            |  |  |   |